

# 平成25年度予算見積調書

課室名：水環境課  
 担当名：水環境担当  
 内線：3081

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B43	水質環境基準類型指定見直し事業費		一般会計	総務費	環境費	公害対策費	ふるさとの川再生戦略推進費	
事業期間	平成23年度～	根拠法令	水質汚濁防止法、環境基本法		戦略項目	10	みどりと川の再生	
					分野施策	040103	川の再生	
1 事業の概要			5 事業説明					
県内河川の水質については、これまでの工場事業場の排水規制や生活排水対策の推進により、近年特に水質改善が進んでいる。これにより、一部の水域で現在の基準と現況に不整合が生じているため、実態に即した基準に見直す必要がある。そこで、環境庁通知（平成6年8月）により、現在の水質が水域類型の上位の類型に係る基準値を達成し、この状態が継続している水域について積極的に見直しを行う。 (1) 水質環境基準類型指定見直し事業 2,418千円			(1) 事業内容 ア 水質環境基準類型指定見直し調査 2,280千円 水域の水質データ、利水状況、将来計画、土地利用状況等に関する情報を収集し、委託業務により水質汚濁解析及び水質将来予測等を行う(7月～12月)。 イ 水質環境基準類型指定見直しに関する検討及び関係機関との調整 138千円 類型指定の見直しを実施するにあたり、関係機関との調整を図るため、検討会議(9, 11, 1月)を開催する。 見直し河川の状況を把握するための現地調査及び環境省、関係都県との調整を行う。 (2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等)： ①目標：上位類型の水質環境基準を安定して満足している水域の類型見直しを行う。 ②達成水準：上位類型を満足している8水域の見直しを行う。 ③今後の計画：平成23年度 2水域の見直し(芝川、不老川) 平成24年度 4水域の見直し(新河岸川、白子川、黒目川、都幾川) 平成25年度 2水域の見直し(高麗川、越辺川下流) ※(前年度から変更した内容)：あり(見直し対象水域1水域減) (3) 効果：環境基準を達成・維持するため、より一層の施策推進が図られると共に、県民や地域活動団体等の河川浄化意識や熱意が高まる。					
2 事業主体及び負担区分			県(10/10)					
3 地方財政措置の状況								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員			平成25年度：9,500千円×1人＝9,500千円 平成24年度：9,500千円×1人＝9,500千円					
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との対比
決定額	2,418						2,418	△1,293
前年額	3,711						3,711	